

脱炭素社会の実現に向けて 上海金山日粉食品有限公司に太陽光発電設備を導入 海外で2拠点目の導入 年間560tのCO₂排出量削減を見込む

ニッパングループの上海金山日粉食品有限公司(総経理:大村真也)は、再生可能エネルギーの利用を推進するべく、同社のプレミックス工場に太陽光発電設備を導入し、2024年7月より稼働を開始いたしました。本設備の年間発電量は約580MWhを想定しており、CO₂排出量は年間約560tの削減を見込んでいます。

上海金山日粉食品有限公司は2018年10月に稼働した、中国・上海にあるプレミックスの製造拠点です。今回の太陽光発電設備導入により、日中の時間帯においては、現在の使用電力量をほぼ賅える発電が可能となる見込みです。当社グループの海外拠点での太陽光発電設備導入は、2023年のNIPPN(Thailand)CO.,Ltd.に続き2拠点目です。

当社グループは「人々のウェルビーイング(幸せ・健康・笑顔)を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」という経営理念のもと、環境保護への取り組みを推進しています。太陽光発電設備の導入のほか、環境マネジメント体制の構築や廃棄物等の排出量削減、省エネ設備の導入も進めています。

今後も当社グループは、事業活動が自然の恩恵に支えられていることを意識し、気候変動に対応するための取り組みを行っていきます。

【上海金山日粉食品有限公司 太陽光発電設備概要】

発電能力	542kW
年間発電量(予測)	約580MWh/年
CO ₂ 削減量(予測)	約560t-CO ₂ /年



太陽光発電設備を導入した上海金山日粉食品有限公司